

(帥おほとものまへつきみ 卿、梧桐の日本琴を中衛大将藤原

原 卿に贈る歌二首)

八一〇番

いかにあらむ 日の時にかも 音知らむ 人の膝
の上 我が枕かむ

八一一番

言問はぬ 木にはありとも うるはしき 君が手
馴れの 琴にしあるべし

(中衛大将藤原 卿の報ふる歌一首)

八一二番

言問はぬ 木にもありとも 我が背子が 手馴れ
のみ琴 地に置かめやも